

病床数適正化事業による病床削減について

構想区域名：山口・防府保健医療圏

対象医療機関名：おか整形外科病院

1 地域の状況			
地域の現状と課題		山口保健医療圏について、地域利用構想の必要病床と令和7年度病床機能報告を比較すると、慢性期が22床不足という状況である。本格的な人口減少・超高齢社会を迎える中、今後見込まれる医療や介護の需要の増大に的確に対応し、将来にわたって医療・介護の提供体制を確保する必要がある。	
2 自施設の状況			
自施設の現状 (変更前)		当院は、慢性期29床を保有している。しかし近年、看護師等の人材確保が困難な状況が続いている。そうした背景から、令和8年3月より、医療機関併設型介護医療院8床が休止中である。	
病床数削減について	削減の内容 削減の理由について	療養病床1床を削減する。 削減理由は、 ①看護師等の人材不足により、適正な人員確保が困難な状況が続き、医療の質の確保も含め、その対策が急務であるため ②3人室の1室が1人当たりの面積6.57㎡と非常に狭く、患者のプライバシー保護の観点から改善する必要があるため	
	対象の病棟・病床の概要	削減する病床は、療養病床1床である。	
	新興感染症に係る協定 締結医療機関の確保病床について	新興感染症に係る協定の締結の有無について	協定あり・協定なし
		今回の削減が当該協定の確保病床に与える影響について	
3 病床削減をしても入院医療の継続に支障がない理由			
理由		削減数は1床であり、地域医療への影響は極めて限定的なものとしながらも、人材確保への資金流出を少しでも軽減し、病院の経営を安定させることで、継続的な入院医療を今後も提供できるものとする。	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R6	削減時期	R7	削減時期	R8	削減時期	計
高度急性期							
急性期							
回復期							
慢性期					1	2027/1/31	1
合計					1		1

【参考：R7病床機能報告(山口保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止予定	合計
報告	①R7(2025)現状	499	1,163	719	838	66	3,285
	②R8(2026)予定	496	1,091	776	820		3,183
構想	③R7(2025)必要数	275	974	899	860		3,008
④構想との差(R7)(①-③)		224	189	△ 180	△ 22	66	277
⑤構想との差(R8)(②-③)		221	117	△ 123	△ 40		175

対応方針（2025プラン）の変更（おか整形外科病院）

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考 （対応方針の実 施予定時期等）
機能 区分	R7 現在	R8 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能 区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・慢性期機能を担う。	・将来の医療需要を見据えるとともに、看護師等の適正な人員確保を行うために療養病床を1床減らし、病院経営を安定させることで、継続的な入院医療を提供していく。	高 度 急性期			令和9年1月実施予定
急性期					急性期			
回復期					回復期			
慢性期	29	29			慢性期	29	<u>28</u>	
休 棟					休 棟			
合 計	29	29			合 計	29	<u>28</u>	